

望月 美也子 (もちづき みやこ : MOCHIZUKI Miyako)

食物栄養学科

【職 名】 准教授

【最終学歴】 名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程退学

【学 位】 修士(生活科学)

【専門分野】 臨床栄養学、応用健康科学

【担当科目】 臨床栄養学、臨床栄養学実習、ライフステージ栄養学、ライフステージ栄養学実習、生活習慣病予防の食育実習、卒業研究

【所属学会】 日本栄養改善学会、日本臨床栄養学会、日本ビタミン学会、日本体力医学会

【研究課題】・個人:食品成分や身体活動量の増加による認知症および糖尿病の重症化予防

・共同:食品成分や健康支援による認知症およびロコモティブシンドロームの予防

【主な教育研究及び社会的活動】

(1) 論文

- ・Effect of a Weekly 35-Min 4.4 METs Exercise (“Choi-tore”) on Body Composition and Bone Mineral Density of Assembly Line Women in the Electronic Industry of Japan, 共著, Health care, 2014,2(4), pp. 74-77 (2014.11)
- ・具体的な運動介入を含まない健康支援クラウドサービスを用いた介入による生活習慣病予備群の体脂肪量減少効果, 共著, 情報コミュニケーション学会誌, 2015, 10(4), pp. 32-37 (2015.2)
- ・Effects of Aerobic Exercise on the Intramuscular Lipid and Glycogen Content of Fiber Types in Soleus Muscles of Non-alcoholic Steatohepatitis Model Rats,筆頭著者, Open Journal of Endocrine and Metabolic Diseases, vol.5, pp.131-137(2016.10)
- ・Activity of Salivary 11 $\beta$ -Hydroxysteroid Dehydrogenase Type 2 Becomes the Index for the Continuous Strength Exercise to Prevent Locomotive Syndrome in Japan,共著, Health,Vol.7, pp.1352-1356(2016.10)

(2) 学会発表

- ・Effect of a Weekly 35-Min 4.4 METs Exercise (Choi-tore) on Body Composition and Bone Mineral Density of Assembly Line Women, 共同, 12th Asian Congress of Nutrition, Kanagawa (2015.5)

(3) 社会的活動

- ・思春期講座 思春期の子ども心の心と身体のケア～身体づくりを支える食事とは～、講師、宇治市生涯学習センター(2016.6)

【その他特記事項】

(1) 研究費の獲得

- ・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究(C)、高齢者が自立した生活を維持するための非侵襲的評価指標の検討、研究分担者(2015.4-2017.3)
- ・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・挑戦的萌芽研究、脂溶性ビタミンと運動に着目したアンドロゲン低下に伴う肥満とうつ状態の改善、研究代表者(2016.4-2018.3)
- ・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究(C)、認知症者の少ないタイ北部に学ぶ認知症予防対策～脳血流量と生活習慣の関係を基に～、研究分担者(2017.4-2021.3)